

【3-1】日常生活支え合い実践事業

公式ワナゲ普及促進事業 (福井市)

基礎情報

実施地域	福井市
実施主体	福井市老人クラブ連合会
所在地	福井市大手3丁目10-1 (長寿福祉課内)
代表者	会長 堀内英治



平成23年度の事業概要

誰でも簡単にできるニュースポーツである公式ワナゲを普及し、高齢者の健康増進を図り、地域での交流の場を設ける。

① ワナゲの配付

地区老人クラブ連合会(36地区)に、ワナゲセットを計133セット配付。他に市老連の貸出し用として10セット購入。

② 講習会、大会の実施(各地区単位)

各地区で随時講習会や大会を実施。(要望があった地区には、市老連役員を派遣して指導。)

③ 大会の実施(福井市)

福井市体育館において、市内の単位クラブから参加者を集めて、講習会と大会を実施。

現在の活動状況

平成23年度は普及目的の講習会兼大会を開催したが、平成24年度には、各地区から参加者を募り、ワナゲ大会を正式な大会として執り行った。また、各地区での大会や講習会も継続して実施している。

事業の実績、成果

- ・ 運動量の多いスポーツに参加できない高齢者もスポーツ活動に参加できるようになり、高齢者の生きがいと健康づくり、および交流の促進に効果があった。
- ・ ワナゲの点数計算を会員自身が行うことで、脳が活性化され認知症の予防にもつながった。
- ・ 交流をとおして新規会員の獲得にもつながった。

工夫した点

- ・ 公式ワナゲはニュースポーツであり会員にあまり馴染みがなかったため、セットの配付だけでなく講習会を開いて、ルールを理解して自分たちでワナゲができるように配慮した。
- ・ 大会を開催することで、各クラブがワナゲへ関心を持ち活発に活動する機運を高めた。



課題

地区ごとで取り組みに差がある。どの地区でも活発に取り組んでもらえるよう働きかけが必要。

事業の財源

平成23年度、地域支え合い事業補助金でワナゲセットを購入した。平成24年度以降、市老連の講習会や大会を開催する際の財源には、「福井市健康づくり事業補助金」を活用している。

今後の目標

- ・ 引き続き、地区老人クラブ連合会や市老連が主体となって、講習会や大会を実施する。
- ・ 特に家に閉じこもりがちな会員に、高齢でも参加しやすいスポーツであることをアピールして参加を促し、高齢者の健康づくりの促進を図っていく。



団体からのメッセージ

ワナゲは簡単なゲームですが、やりだすと集中力もいるし、だんだん面白くなってきます。

老人クラブでは健康づくり、仲間づくり、子どもとの交流会など広く活用し、大会では飛び賞を設けて和気あいあいとして楽しんでいます。

問合せ先：福井市老人クラブ連合会

(TEL : 0776-20-5400

FAX : 0776-20-5426)